



October 16, 2015

C/CCR-JP-2015-013

## 柔軟な勤務形態をさらに充実 ボッシュ日本法人 一般在宅勤務制度の開始 育児・介護・傷病に加え、一般的な在宅勤務制度を拡充

- ▶ 従業員のワークライフバランスの実現を支援
- ▶ 離職率は1%台
- ▶ 女性管理職を2020年までに10%へ

東京ー グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるボッシュ・グループの日本法人、ボッシュ株式会社は、従業員により効率的で柔軟な勤務環境を提供するため、2015年11月1日より、一般在宅勤務制度を導入します。「今回の制度で、間接従業員の多くが在宅勤務を利用出来るようになり、通勤時間の削減で家族と過ごす時間が増えたり、ワークライフバランスを向上させることが出来ます。また、仕事に対する満足度がさらに向上し、生産性も上がることで、より良い結果も期待できます」と、代表取締役社長のヴォルツは述べます。

### 月40時間までの一般在宅勤務制度へ拡充

ボッシュでは1990年台半ばよりワークライフバランスを考慮した柔軟な働き方が可能となっています。日本のボッシュでは既に、育児・介護や傷病に伴う在宅勤務規定は存在していますが、この度対象範囲をさらに広げ、在宅での従事が可能な業務が一定量ある本採用者が希望し、上長から承認されれば在宅勤務が出来るようになります。月に40時間を上限とし、終日でも、部分在宅でも可能です。前日までに在宅勤務時間・予定業務を上司に申請し、承認を受けます。

性別、国際性、世代、文化に於ける多様性を推進するため、ボッシュ・グループでは全世界でダイバーシティ推進活動を展開しています。その一環で、日本のボッシュ・グループではDiversity@bosch Japanという従業員活動チームを2014年1月に立ち上げました。「タイムマネジメント向上」、「在宅勤務研究会」、「育児介護両立サポート」の3つのテーマで、様々な部署から参加した従業員が事業部の枠を越えた活動を行っています。その中の1つ、在宅勤務研究会が他社や海外のボッシュ・グループの制度などを研究し、新制度を提案しました。その提案をもとに、2015年2月から3月の2ヶ月間に一般在宅勤務制度のトライアルを実施しました。

### **トライアル在宅勤務で課題を洗い出し**

様々な事業部、職種から 50 名強の従業員がトライアルに参加し、従業員とその上司によるアンケートや聞き取りの結果を検証したうえで制度最終案に反映させました。参加者の男女比は男性 6 割、女性 4 割、管理職が 3 割でした。アンケート結果は、参加者の 83%が、また参加者の上司の 75%が満足、参加者の 95%が、また参加者の上司の 94%が在宅勤務によって仕事の効率がオフィスと同じか向上した、と答えています。ネットワークスピードについての指摘もありましたが、それについては情報システム部門にて既に対応がなされており、トライアルを実施したことで本番環境への準備が整いました。また、在宅で実施する業務の選定をする中で、効率化についてもアイデアが出され、仕事全体の見直しの機会にもなっていることがわかりました。

### **さらなるワークライフバランスの実現を支援**

ポッシュ株式会社では、リフレッシュ休暇制度を 1995 年に開始し、非管理職においては年休取得日数もほぼ 100%消化を実現しています。これは自動車業界の平均が約 80%、全国平均(主要メーカー平均)が約 50%であることから見てもとても高い数字です。それ以外にも、ワークライフバランス実現に向けた制度の一環として、法律の要件を上回る育児休業や子の看護休暇等を整えています。育児休業は法律の要件は子が 1 歳に達する日まで、ですが、ポッシュでは「ならし保育」の事情を考慮し、子が満 1 歳到達後、最初にむかえる 4 月末まで、または満 1 歳 6 ヶ月に達する月の月末まで取得することができます。「従業員が働きやすくなるよう、出来る限りサポートをしています。時短勤務、在宅勤務などの制度を通して母親も父親も仕事とプライベートのバランスが取れるよう柔軟な働き方が出来るようになります。総合的に見て、従業員、その家族、そして会社にとって、ウィンウィンな状況であると思います」。人事を所管する取締役副社長の森川は述べました。

### **離職率は 1%台、女性管理職 2020 年までに 10%へ**

ポッシュ株式会社では、長年離職率は 1%台を維持しています。今後も従業員が働きやすい環境を整え、女性活躍推進にも力を入れていきます。世界のポッシュ・グループでは、2020 年までに、女性管理職が管理職全体に占める割合を 20%に、日本では、同年までに 10%を目標に掲げています。森川はこう付け足しました。「ダイバーシティはポッシュ・グループの強みです。また低い離職率は、従業員がポッシュ・グループで働くことに誇りを持っていることの現われだと思っています。今後も管理職のロールモデルが増えるよう、タイムマネジメント等の対策にも力を入れて行きたいと思っています」。

#### **Contact:**

松本 有可

舟田 直美

電話: +81 3 5485-3393

## 日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、ボッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FAモジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。

2014年の日本のボッシュ・グループの売上は約3,430億円で、従業員数は約7,200人です。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)

## 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2014年の従業員数は約360,000人(2015年4月1日現在)、売上高は490億ユーロ\*を計上しています。事業はモビリティ ソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社約440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。2014年に ボッシュは全世界で約4,600件の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています。私たちボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じ、人々の生活の質を向上します。つまりボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbHの株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbHが保有しています。

\*公表された2014年の売上高には、現在では完全子会社化されたかつての折半出資の合弁会社であるBSH Bosch und Siemens Hausgeräte GmbH(現在はBSH Hausgeräte GmbHに社名変更)およびZF Lenksysteme GmbH(現在はRobert Bosch Automotive Steering GmbHに社名変更)は含まれていません。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube(日本語)